



学校を開き、生徒の未来を拓く

□ 令和4年度の始業にあたって

「おはようございます」

爽やかなあいさつの声が、今日も学校のいたる場所で聞こえてきます。

入学式前日は生徒会執行部や3年生の有志が、自分の時間を提供して入学式会場の準備や新1年生の教室環境を整えてくれました。また毎朝、2年生女子生徒2名が、自らの意志で体育館周辺の落ち葉掃除をしています。昨年度まで大切にしてきた「自ら求める」姿が見られる中での、令和4年度のスタートです。

さて、現在の日本では「Society5.0」と呼ばれるIoT、AIなどを活用した新たな社会をめざしています。もちろん私たちにとって便利で快適な社会です。一方で、その技術革新はものすごいスピードで進んでおり、あらゆるものを取り巻く環境が複雑さを増し、将来の予測が困難な状況にあります。いわゆる「VUCAの時代」です。

社会には解決すべき課題もたくさんあります。日本では人口が減少し、かつ高齢化が急速に進みます。それによって医療や介護などの社会保障の負担がおそらく今より増えます。地球温暖化が進み、温室効果ガス排出の削減もきつと厳しく求められます。外国人技能実習制度が改正されたことなどにより、たくさんの方の外国の方が日本で生活します。職場では日本人だけでなく、文化や考え方の違う外国の方と協働して成果を出すことが求められるかもしれません。また、ある報告書では将来、日本の労働人口の約49%がAIやロボットに変わることが可能になるとあります。

こういったこれからの世の中においても、子どもたちが社会の中核で活躍する頃に「人生を豊かに生きる」「これからの社会を創造する」存在であってほしいと願います。そして中学校の3年間では、その礎となる力を育みたいと考えています。

礎となる力とは…、「新しいことに挑戦する力」「コミュニケーション力」「変化に柔軟に対応する力」「情報を活用する力」「たくましく生きる力」等々、いろいろと考えられますが、巢南中学校では次のように捉えています。

自ら求め 考え 判断し 行動する力

この力を毎日の学校生活の中で、

「自らを律すること」

「自ら学ぶこと」

「自ら動くこと」

を大切にした教育を通して育みたいと考えています。



私たち巢南中学校の全職員は、この力を育むことを目標にもち、子どもたちを指導・支援していきます。さらにその前提として「人権を尊重する」「危機管理を徹底する」「安全・安心な環境を整える」「法令を遵守する」「家庭や地域・関係機関とよい関係を築く」といった学校の土台を整えます。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

※VUCA: Volatility (変動性)・Uncertainty (不確実性)・Complexity (複雑性)・Ambiguity (曖昧性) の頭文字をとった言葉で「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」を意味しています。